



The Y's Men's Club of Kyoto
ZERO
since 2010

4

2013
APRIL

4月10日発行
第3巻 第10号 通巻29号

Bulletin
CHARTERED 2010



◆今月の聖句 コロサイの信徒への手紙3章13節
互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなた方も同じようにしなさい。

クラブ会長主題：明日も笑顔で ～全てのことが 意味のあること～ クラブ会長：藤井隆

国際会長主題："Be the light of the world" "世を照らす光となろう"

国際会長：Philip Mathai(インド)

アジアエリア会長主題："Years bring wisdom" "歳月はY'sをワイズ(賢者)にする"

アジア会長：Oliver Wu(台湾)

西日本区理事主題："先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で" 西日本区理事：成瀬晃三

京都部部長主題：『出あい』『ふれあい』『磨きあい』京都部部長：船木順司(京都トップス)



「自分の居場所？」

宮越 寛

ZEROクラブも3期目を迎え、ほとんどのメンバーは少しワイズに慣れてきたかなと思います。

ところで皆さんはクラブ内で自分の居場所を確保しましたか？

まだ確保できていないメンバーの方が多いかも知れません。決して拙速に見つける必要はありませんが、これが確保できるとクラブライフは今以上に楽しいものになると思います。

「自分の居場所」、真剣に考えると結構難題かな？ そこで、私が思うにまずは「自己肯定」。

決して祭りに乗り遅れないように必死に流れに付いていくことも、

また他のメンバーに合わせることも必要なし。

というか数十名のメンバーがいる中で皆に合わせることは無理。とりあえず「そのままの自分」で

関わりを持つ事が一番重要かと思います。そうすることによって好き嫌いは別として

メンバー(そのままの自分)同志がお互いを知ることができ、やがて認め合うようになれる。

メンバー同士が存在を認め合うということは、クラブ内にそれぞれのグリッドが出来て

居場所が確保できていくということだと思います。「クラブ=自己肯定する自分の存在を認めて受け入れてくれる場所」であるはずなので、集団のルールを守れば自己肯定の集まりであってもOK。

そのままの自分で楽しいクラブは、きっとメンバー増強にも繋がります。

が、それよりも居場所を確保して、まずは自分が楽しみましょう。

3月第一例会「ZERO・SNOW」

平成24年3月3日

3月第1例会は3月3日(日)に広河原スキー場において、メンバー10名・メネット1名・コメット4名の総勢15名の参加者で、好天の下で屋外例会として開催されました。

企画当初は3月の開催で近場のスキー場ということで少し積雪状況に不安がある旨ドライバー委員長がこぼしていたようですが、当日は十分な積雪量で近場のスキー場としては、かなり良いゲレンデ状況でした。が、つづら折りの峠道も同様に積雪があり、チャーターしたマイクロバスはそのまま現地まで行けず、花背峠の手前からは4WDのワンボックスカーでピストン輸送となりました。定刻にあわせて、現地へたどりついている現直のメンバーは、腹を減らつつ待つはめに相成りました。また、ピストン輸送の後発組は峠道で待つこと1時間以上。その間、雪だるまを作ったり雪合戦に興じ、暫し「ガキ」に戻り時間を潰しました。

なんやかんやで、参加者が揃い開会の後、昼食。ゲレンデでは、およそ40歳を境に、アンダーはスノボそしてオーバーはスキーとなっていたようです。スキー組はさすが昔取った杵柄で、体力・持久力がなくても進化した道具を駆使し、ごまかしながら老獪な滑りを披露。また、スノボ組も少々のはずみは強引にリカバリーしつつ、技を挟みながら、「おっさん等と違うにゃ、まだまだ若いにゃゾッ!」というところをアピールしていたようです。

最後に、楽しい例会を企画していただいた佐古田Yを委員長とするドライバー委員会の皆様、そして関わっていただいた皆様ありがとうございました。

また、機会があればおもしろい企画待ってます。

宮越 寛



「チャリティーゴルフ」

平成24年3月17日

チャリティーゴルフの天気は大変良い日でした、ゼロクラブのスタート時間は最終組とその前の組で、のんびりした集合でスタートしました。

参加者はメンバー小西ワイズ夫妻と西村寛子ワイズ、竹園とゲストの宮口彰治さん、トルストワ ビクトリアさんです。

この日ゴルフの内容は自分事で言いますと、イーグル有りのまああの成績でした。

一緒にラウンドした西村ワイズはさすがに冷静で女性にしておくのが惜しいぐらいのパワーとテクニックで良いゴルフをされてました。

ゲストのビクトリアさんは初心者ではありながらワイズの数ある

メンバーの中でニアピン賞を取られました。それがたとえコロコロ転がって旗の近くに転がっただけですがゴルフは結果が大事です。素晴らしい。

もう一人のゲスト宮口さんは80人の中で40位ですが、仕事で一睡もして無いにも関わらず安定したスコアでした。

竹園も宮口さんもグロス93たたいてしまいました。ゲストの都合で表彰式に参加出来なくて小西夫妻のゴルフの内容は分かりませんがおそらく楽しいゴルフが出来たと思います。

是非来年は初心者でもどんどん参加してチャリティーしてください。

竹園 憲二

3月第二例会「ゲストスピーカー例会」

平成24年3月28日

本日はゲストスピーカーにアームレスリング京都チャンピオンの大高様をお迎えして行われました。

まずは体格の良さに圧倒され、少し声をかけにくい印象を受けました。しかし、お話しを聞かせていただくうちに人柄の良さが伝わってきました。(決して人柄が悪そうという印象ではありませんでした。念の為。。。)

とてもシャイな方でしたが、さすがに実力は本物でした。

実演タイムでは、ZEROクラブの腕チカラ自慢の岸田ワイズ、竹園ワイズが勝負に挑みましたが、まさに赤子の手をひねるが如く完勝!!さすがです。

また、アームレスリングの裏技!?も伝授して頂きました。

アームレスリングは決して力が強いだけでは勝てない、高度な技術も必要だということも教えて頂きました。その奥の深さにまた、驚かされました。

この裏技やちょっとした技術(コツ)は使えると思い実践してみると、確かに強くなったような気がしました。今後アームレスリングを見る時はまた、違った見方ができそうです。

波多野 守一



「サバエ日陰棚ワーク」

平成24年3月31日

3月31日は井上、宇佐美、河村、佐古田、竹園、西村夫妻、波多野、高倉の9名に強力助っ人の大高さんに参加頂き、午前中は寂光院にて丸太搬出、サバエへ移動、丸太搬入、佐古田シェフのおいしい〜いドライカレーで昼食後、基礎の穴掘りまで出来ました。午前中はあいにくの雨でしたが、傾斜地での搬出は結構な運動になりました(^_^;)



HAPPY ANNIVERSARY!

4月 20日 岸田靖司&まり子

〈強調月間〉4月 YMCAサービス・ASF

■ 3月例会出席

第1例会		第2例会	
メンバー	10/25名	メンバー	18/25名
メネット	1名	メネット	0名
コメット	4名	コメット	0名
ゲスト	0名	ゲスト	2名
月間出席者数 22名/25名		月間出席率 88.0%	

■ TOF・CS・FF

TOF	0 pt
CS	0 pt
FF	0 pt

■ ニコニコ

3月	5,000円
累計	39,000円

■ ファンド

3月	6,200円
累計	333,280円

会長	藤井隆
副会長	竹園憲二 河村栄二
書記	井上晴雄
書記	高倉英理
会計	熊本祐滉